

山形大学校友会理事会（第20回）議事録

平成28年6月24日（金）

15時00分～16時13分

山形大学法人本部第1会議室

（議題）

- 1 校友会副会長の選出について
- 2 校友会専門委員会委員の選出について
- 3 平成27年度事業報告並びに収支決算及び監査報告について
- 4 平成28年度事業計画及び収支予算について
- 5 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせの一部改正について
- 6 山形大学校友会設立10周年記念事業の実施について
- 7 その他
 - (1) 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて
 - (2) 平成28年度山形大学OB&OGセミナーの開催について
 - (3) 校友会の活動報告について～校友会活動をご理解いただくために～
 - (4) 平成28年度校友会関係年間スケジュールについて
 - (5) その他

（出席者）

会 長： 小山清人（議長）
理 事： 佐藤圓治、後藤卓也、秋葉良悦、野村一芳、木村康二、加藤丈夫、
佐藤和佳子、山崎洋一郎、齋藤博行、大場好弘、是川晴彦、竹田隆一、
栗山恭直、山川光徳、松山裕城、奥山利弘（結城敏夫の代理）、岩城功希
監 事： 丸山俊明、寒河江良三

（欠席者）

理 事： 新目昌義、山内正俊、長谷部利信、本間啓一、神戸士郎

（列席者）

長岡エンrollment・マネジメント部長、齋藤 EM 企画課長、
大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、渡部係員、田辺係員

議事に先立ち、小山学長から大学や校友会の現況等について挨拶があり、引き続き、新任の理事及び出欠状況について紹介があった。

（議題）

- 1 校友会副会長の選出について
議長から本件について提案があり、規定に基づく選出方法について説明の後、副会長には長沼龍平前理事と交代されたふすま同窓会選出の野村一芳理事に副会長を務めていただきたい旨提案があり、承認された。
なお、もう一人は、神戸士郎理事に引き続き副会長をお願いすることとした。

2 校友会専門委員会委員の選出について

議長から本件について提案があり、専門委員会の任務と選出方法について説明の後、資料2のとおり野村一芳理事(副会長)と佐藤圓治理事を加えた7人として旨提案があり、諮られた結果、承認された。

関連して、議長から、専門委員会の委員長は「委員の互選」になっており、本日の理事会終了後、専門委員会を開催して決定していただく旨説明があった。

3 平成27年度事業報告並びに収支決算及び監査報告について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成27年度事業報告(各事業報告書添付)」及び「平成27年度収支決算書(案)」について資料3及び資料4に基づき概ね次のような説明があり、引き続き、寒河江監事から監査報告(資料5)があった。

(内容)

- (1) 本件は、5月27日開催の校友会専門委員会で審議いただいた内容である。
- (2) 平成27年度支援事業29件の実施結果については、各事業ごとの報告書(資料3)には写真を添付し実施上の成果や効果等を中心に取りまとめ、各事業の内容をよりわかりやすく表記したものである。
- (3) 支援事業のうち1件(整理番号28)は、事業採択の時期がサマーキャンプの学生申し込み間に合わなかったとして、未実施となった。
- (4) 事業の実施団体等から提出された事業実施報告書を、席上回覧としたのでご覧いただきたい。
- (5) 平成27年度収支決算について、収入は学生や一般会員の新規加入者が多かったため288千円程の増となった。
- (6) 平成27年度事業費として23,220千円を予算化したが、最終的には4,568千円程の執行残が生じた。
- (7) 大学院医学系研究科に係る「博士課程学生研究発表奨励事業」分の250千円については、予備費から支出した。
- (8) 運営費は、決算額が予算額を上回った項目もあったが、総額3,540千円の予算に対して全体で118千円程の執行残となった。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

4 平成28年度事業計画及び収支予算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成28年度事業計画書提出一覧(個別表添付)」、「平成28年度事業計画(案)」及び「平成28年度収支予算書(案)」について、資料6、資料7及び資料8に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成28年度の申請件数は、継続事業23件及び新規事業4件の合計27件で申請総額は37,168千円となっている。
- (2) なお、全27件のうち校友会が主体的に実施する継続事業6件及び新規事業1件が含まれている。
- (3) 事業計画の策定に当たっては、資料8の「山形大学校友会事業の検討に当たって(基本方針)」に基づき、5月27日開催の校友会専門委員会において審議された。

- (4) 本年 2 月開催の理事会で平成 28 年度継続事業として優位性を認めた次の事業は締切り期日までに申請がなかったため、不採択とした。
 - ・グローバル化に向けた授業への修学支援
 - ・山形大学実践教育プログラム長期インターンシップの実施等
 - ・山形大学東京サテライト卒業・修了制作展
- (5) 事業採否の審議のため、5 月 27 日開催の校友会専門委員会での意見等を踏まえ、各事業毎の申請額、前年度予算額及び採択額案等を資料 7 のとおり整理した。
- (6) 継続事業として認められた 23 件に係る採択金額は、前年度の実績等を勘案して算出したものである。
- (7) 新規に申請された事業 4 件は、事業区分のどれに該当するかを確認の上、事業の妥当性等を精査し、4 件とも採択し採択額を算出したものである。
- (8) 「博士課程学生研究発表奨励事業 (No. 7)」については、大学院理工学研究科と大学院医学系研究科の合同申請として取り扱った。
- (9) 「実践教育プログラム英語合宿 (No. 9)」は、昨年までの事業内容を一部変更し「英語合宿」に特化したものとなっている。
- (10) 「本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー (No. 18)」は昨年度で 5 年間の継続事業が終了したことで、今回から新たな名称で新規事業として申請されたものである。
- (11) 今年で 4 回目となる「山形大学卒業生講演会 (No. 22)」は、米沢工業会様との共催としたい。
- (12) 「校友会設立 10 周年記念事業の実施 (No. 27)」は、すでに前回の理事会で承認を得ているが、平成 28 年度の新規事業（特別）として計上した。
- (13) 平成 28 年度の予算について、収入の部は、会費収入として一般会員 50 人を見込み 20,200 千円とし、繰越金 12,011 千円と合わせて総額 32,231 千円としたい。
- (14) 「支出の部」の事業費欄は、今年度から「大学への支援事業」と「校友会事業」に区分して表記した。
- (15) 平成 28 年度の採択件数は、校友会の主体事業として継続事業 6 件及び新規事業 1 件を含む継続事業 23 件及び新規事業 4 件の合計 27 件とし、事業費総額（含む予備費）は 25,400 千円としたい。
- (16) 事業費は、先の説明のとおり前年度予算から 3,700 千円増の 25,400 千円、運営費は前年度から 9 万円増の 3,630 千円とし、支出総額は前年度から 3,790 千円増の 29,030 千円としたい。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

5 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせの一部改正について

議長から本件について提案があり、事務局から資料 10 に基づき本申し合わせの主な改正点について逐条説明及び施行日は理事会承認日としたい旨補足説明があり、諮られた結果、原案どおり承認された。

関連して、次のような要望意見があった。

- 本申し合わせの一部改正に異論はないが、この制度を学部全体に知らしめることが大切であり、そのためには学部教授会等を活用して周知することが大事ではないか。また、申請する様式はホームページからダウンロードできると便利ではないか。
(齋藤理事)
- ◎ 貴重なご意見であり、しかるべく対応したい。(事務局)

6 山形大学校友会設立10周年記念事業の実施について

議長から本件について提案があり、事務局から資料11に基づき10周年記念事業の概要について説明があり、諮られた結果、原案どおり承認された。

なお、事務局から、来る11月25日(金)の「記念講演会・記念式典・記念祝賀会」への案内状は学内外の関係者にすでに送付済みであり、校友会理事の皆さまには出席について特段のご協力をお願いしたい旨述べられた。

7 その他

(1) 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて

議長から、本件は校友会の課題として前年度から検討をいただいている事柄である旨説明があり、事務局から参考資料12に基づき、概ね次のような説明があった。

- ① 校友会としての現状と課題を6項目として整理し、なかでも、校友会には学生理事がないので、会員である学生の声をもっと反映できる仕組みが必要ではないか。
- ② 入学段階から、校友会や同窓会について理解してもらうことは、卒業後も母校意識の醸成に繋がるのではないか。
- ③ 今後の方向としては、校友会に「学生幹事」を新たに配置したい。
- ④ なお、あらかじめ学生幹事の任務を明確にして置くべきであろう。
- ⑤ 1・2年次学生が中心となると思われるが、選出の仕方には工夫が必要である。

説明の後、概ね次のような意見交換があった。

- 学生幹事には、同窓会関連でもぜひ活躍してほしいので、学年連絡委員として、毎年2名ずつ選出してもらうのはどうか。また、同窓会を開催するときの役員選出にも都合が良く、卒業後においても活躍してくれる学生が望ましい。
一方、リーダーとして山形県内、東京など同窓生が多く勤務又は居住している地域から、という条件を付けてもいいのではないか。(齋藤理事)
- 卒業後も繋ぐという点では、首都圏で昨年からスタートした「山形大学若手の会」を充実させてはどうか。(岩城理事)
- いただいた意見等も踏まえ、本件の実現に向けて前向きに検討したい。
(事務局)

(2) 平成28年度山形大学OB&OGセミナーの開催について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料13に基づき、本年度の開催に向けた変更点について次のような説明があった。

- ① 開催日は例年どおり明年3月の第一土曜日であるが、会場は山形大学東京サテライトから「グランパークカンファレンス大会議室」に変更する。
なお、会場は、東京サテライトから徒歩3分程度の近いところにある。
- ② 会場変更に伴い、参加人数を100人から192人に大幅に拡大できる。
- ③ 会場前の廊下では、昨年できなかった山形大学オリジナルグッズや出版本の販売も可能となる。

説明の後、概ね次のような要望意見があった。

- 卒業生のネットワークは大切である。校友会10周年を記念して今年度は関西でもOB&OGセミナーを実施したいとの意向をお聞きしたので、ぜひ実現してもらいたい。(岩城理事)

(3) 校友会の活動報告について ～校友会活動をご理解いただくために～

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 14 に基づき概ね次のような説明があった。

- ① 本件は、校友会活動をより理解いただくため、校友会事務局が各同窓会支部総会等に出席する際に、説明資料として活用したいと考え作成したものである。
- ② 今年で、設立 10 周年を迎えた校友会の組織や校友会が主体的に取り組んでいる各種事業をわかりやすく紹介しているので、ご覧いただきたい。

(4) 平成 28 年度校友会関係年間スケジュールについて

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 15 に基づき、主な年間スケジュールについて説明があった。

(5) その他

特になし。

最後に、議長から、次の 2 点について説明があった。

- ① 次回の理事会は平成 29 年 2 月中旬開催を予定している。
- ② この理事会終了後、校友会専門委員会を開催するのでよろしく願いたい。

配付資料一覧

- 校友会理事会 席次
- 校友会理事会（第 20 回）次第

[資料一覧]

- 資料 1 校友会理事・監事一覧（H28.6.24 現在）
- 資料 2 校友会専門委員会委員（案）
- 資料 3 平成 27 年度事業報告（各事業報告書添付）
- 資料 4 平成 27 年度収支決算書（案）
- 資料 5 平成 27 年度監査報告書
- 資料 6 平成 28 年度事業計画書提出一覧（各事業計画書添付）
- 資料 7 平成 28 年度事業計画（案）
(5.27 開催校友会専門委員会における検討結果)
- 資料 8 校友会事業の検討に当たって（基本方針）
- 資料 9 平成 28 年度収支予算書（案）
- 資料 10 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
の一部改正について（案）
- 資料 11 校友会設立 10 周年記念事業
- 資料 12 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて（検討資料）
- 資料 13 平成 28 年度（第 12 回）山形大学 OB & OG セミナー
- 資料 14 校友会活動報告「校友会は今年で設立 10 周年を迎えました！！」
－校友会活動をご理解いただくために－
- 資料 15 平成 28 年度校友会の年間行事スケジュール

[参考資料一覧]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第19回（H28.2.19）議事録
- 4 校友会専門委員会第20回（H28.5.27）議事録
 - 山形大学 2016年度行動計画
 - 山形大学広報誌「みどり樹 vol.67」
 - 校友会入会案内 2016年3月発行
 - 校友会会報 No.7

※ **席上回覧** 校友会支援事業に係る「平成27年度事業実施報告書綴り」